

令和7年度 恵那市市民意識調査結果報告書【概要版】

市民の皆様の暮らしの現状や、これからのまちづくりに向けたいご意見をお伺いし、より良いまちづくりに反映させるため、「恵那市市民意識調査」を実施しました。

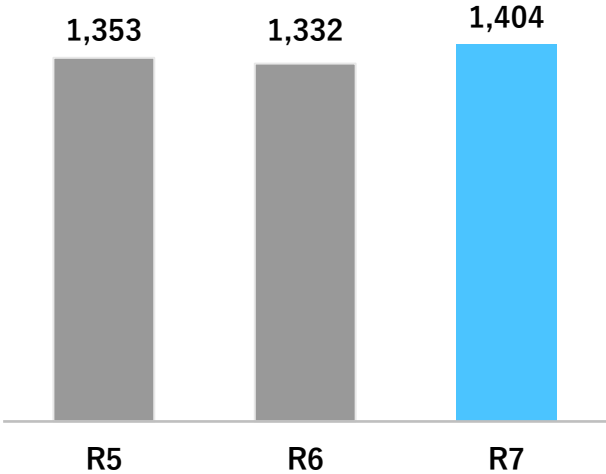
調査の概要

対象者	18歳以上の市民 2,500人（無作為抽出）
実施時期	令和7年8月6日～8月22日
回答方法	郵送またはインターネット回答

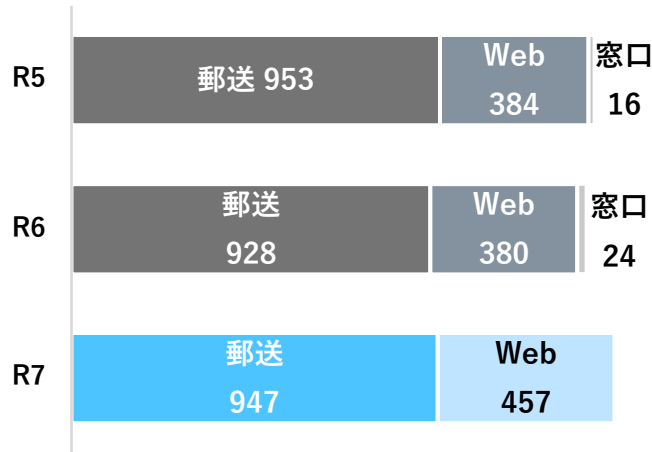
回収結果

回答数	1,404件（うち郵送947件、インターネット457件）
回答率	56.2%

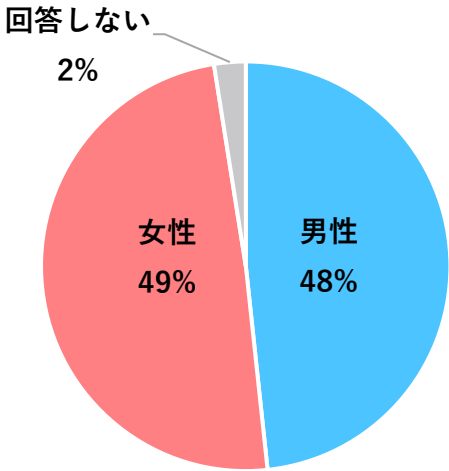
■ 回答数の推移



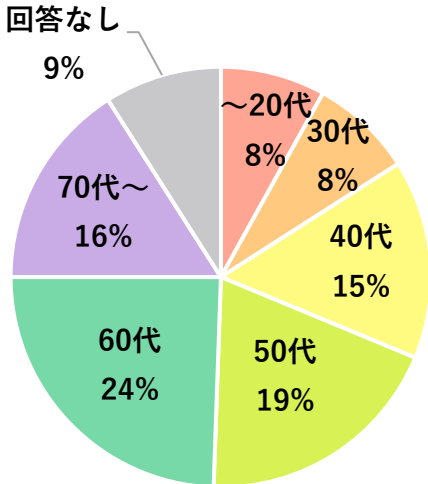
■ 回答方法の推移



■ 回答者の属性（性別）



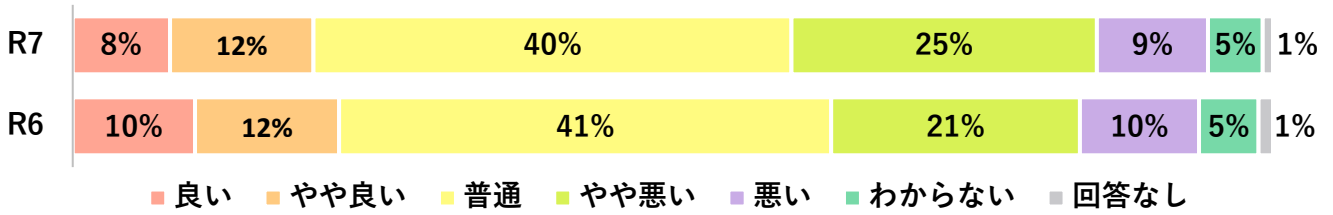
■ 回答者の属性（年代）



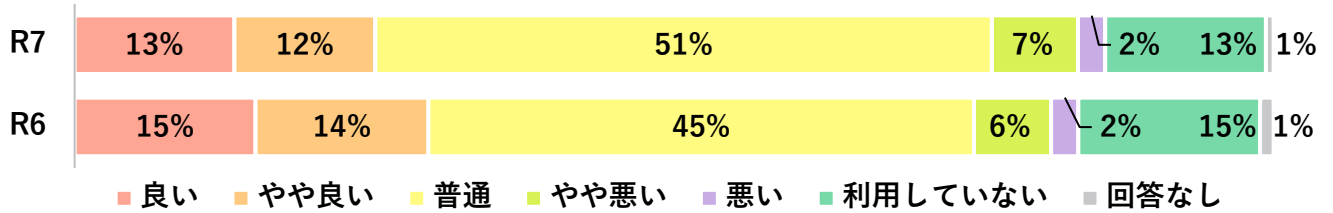
回答数は、昨年度より72件増加し、1,404件（回答率56.2%）でした。
 インターネット回答を利用した方の割合は32.5%でした。
 回答者の年代では、60代以上が計40%で、昨年度と同様、30代以下の2倍以上の割合となりました。

1 行政サービスについて

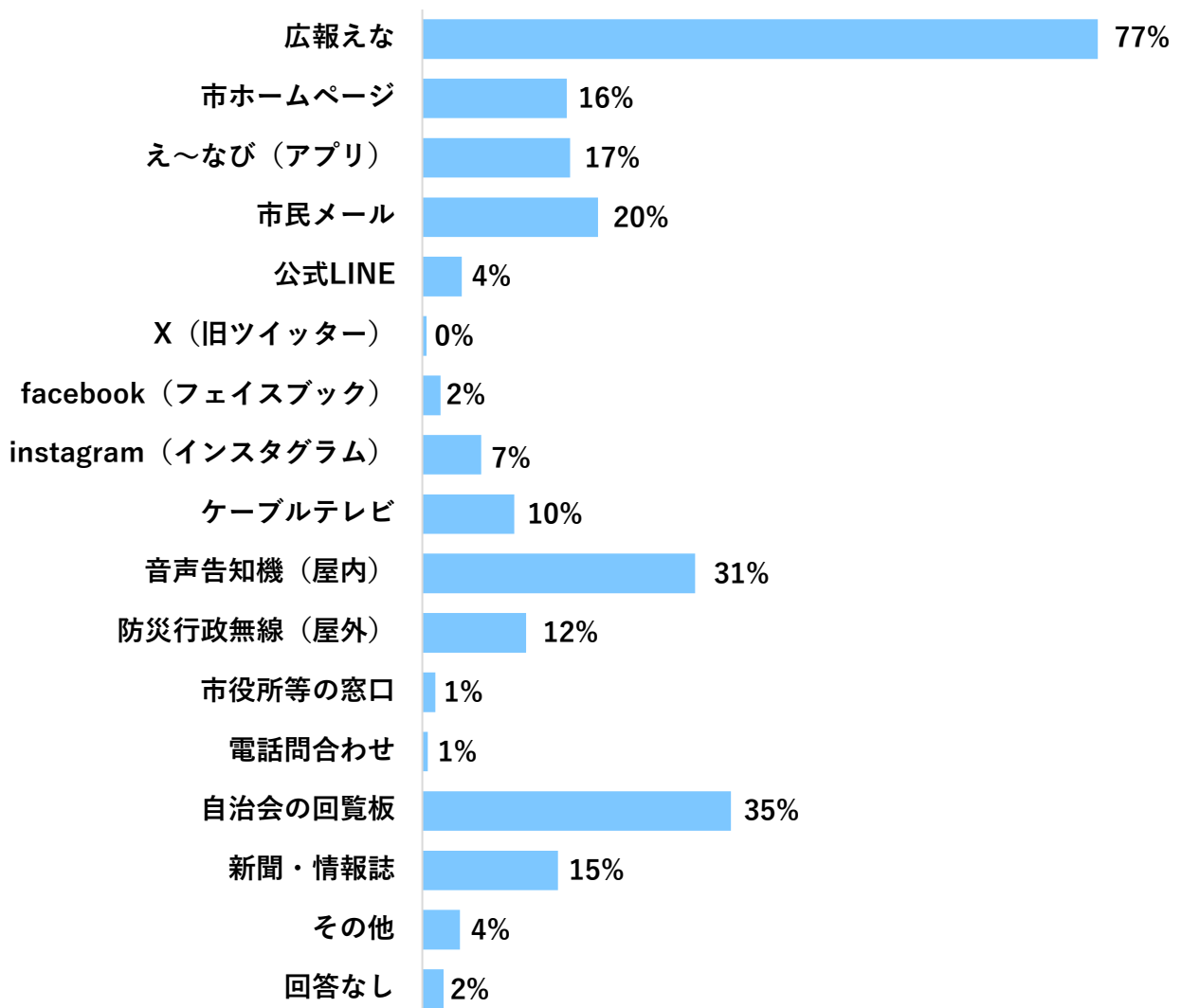
■今の恵那市の医療環境について、どのように感じていますか？



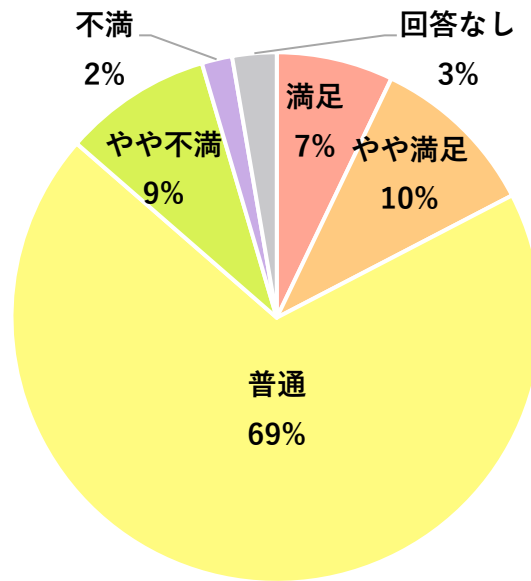
■この1年間、市の窓口サービスについて、どのように感じましたか？



■市政情報や市のイベント情報を何から得ていますか？



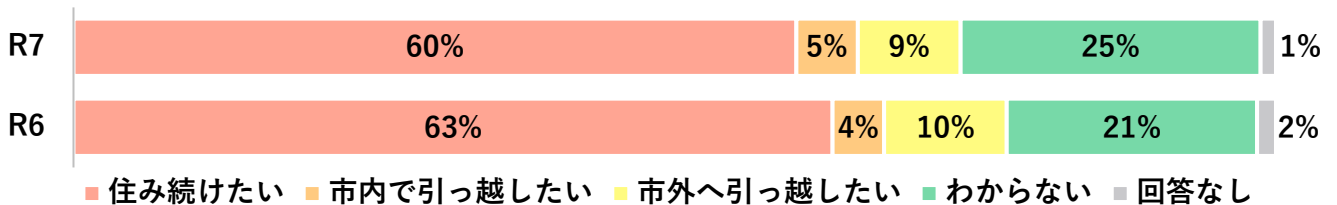
■市の情報発信について、どのように感じていますか？



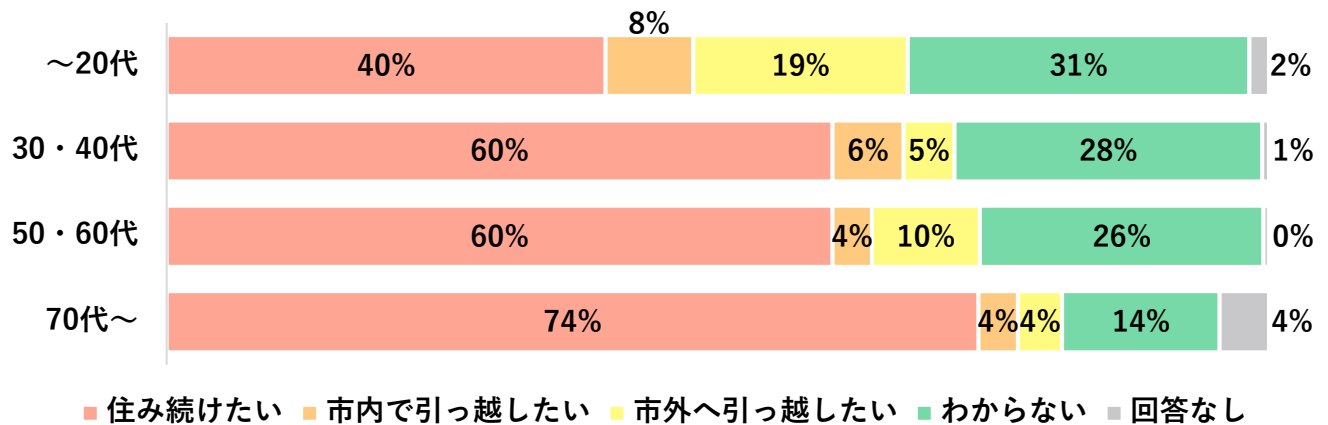
「医療環境」については、「悪い」「やや悪い」の回答割合が計34%で、「良い」「やや良い」の回答割合より高くなりました。「窓口サービス」については、「良い」「やや良い」の回答割合が計25%で、「悪い」「やや悪い」の回答割合より高くなりました。

2 暮らしについて

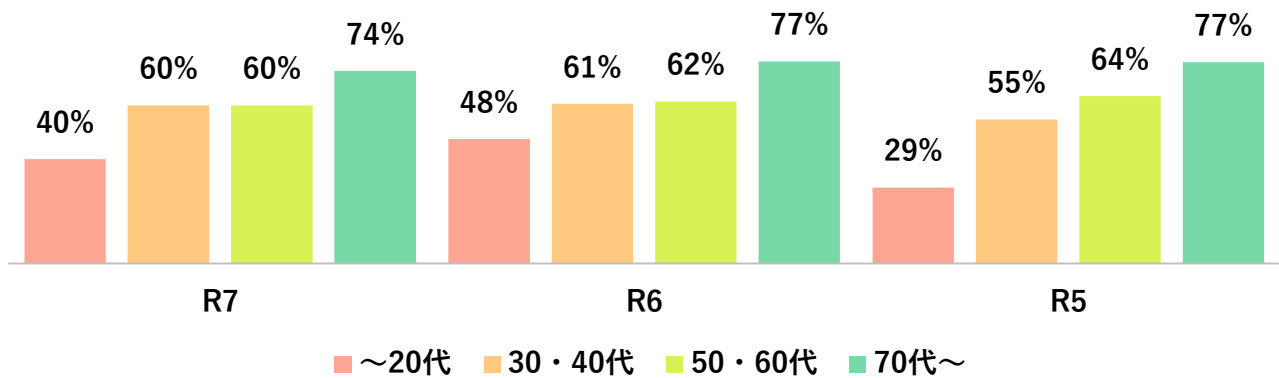
■これからも今の場所に住み続けたいですか？【全体】



■これからも今の場所に住み続けたいですか？【年代別】

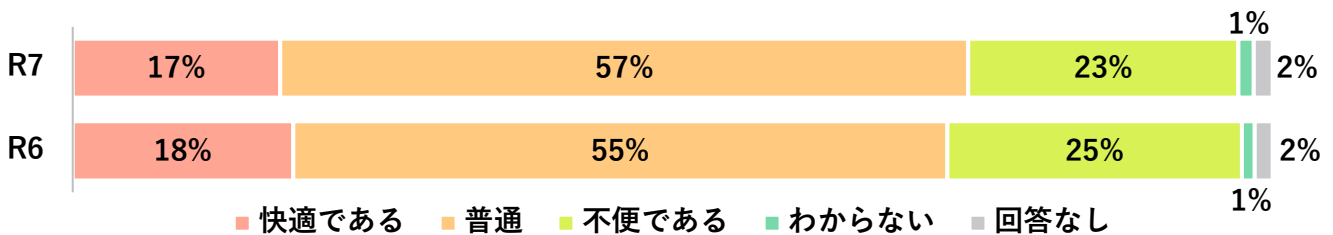


■ これからも今の場所に「住み続けたい」と回答した方の割合【年度別・年代別】

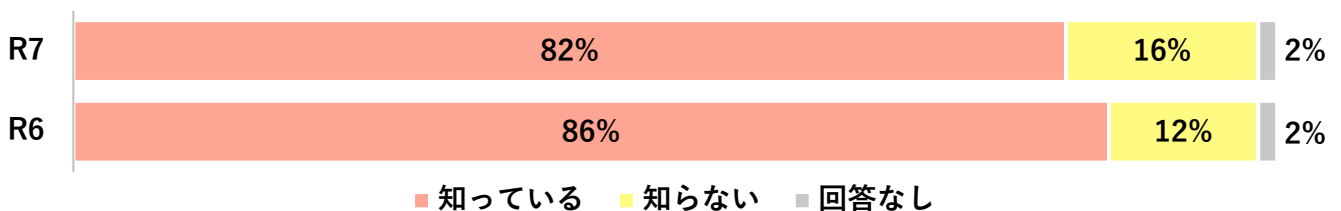


昨年度同様、約70%の方が「今の場所」または「恵那市内に」住み続けたいと回答しました。「今の場所に住み続けたい」の回答割合は、年代別に年齢が高いほど高くなっています。年度別にみると、昨年度増加した40代以下の回答割合を維持しています。

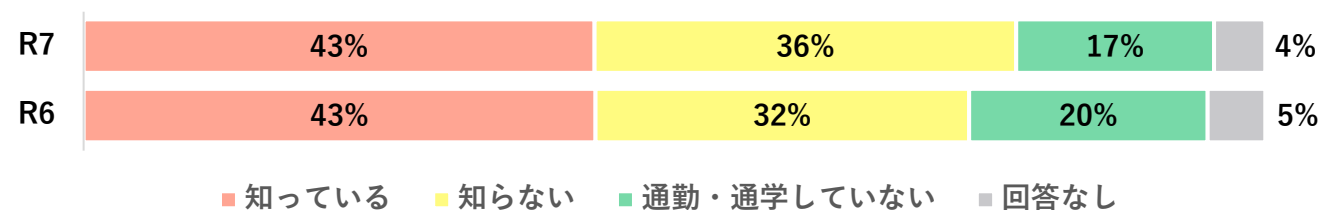
■ 普段の生活で、日用品の買い物環境について「過去1年間」でどのように感じましたか？



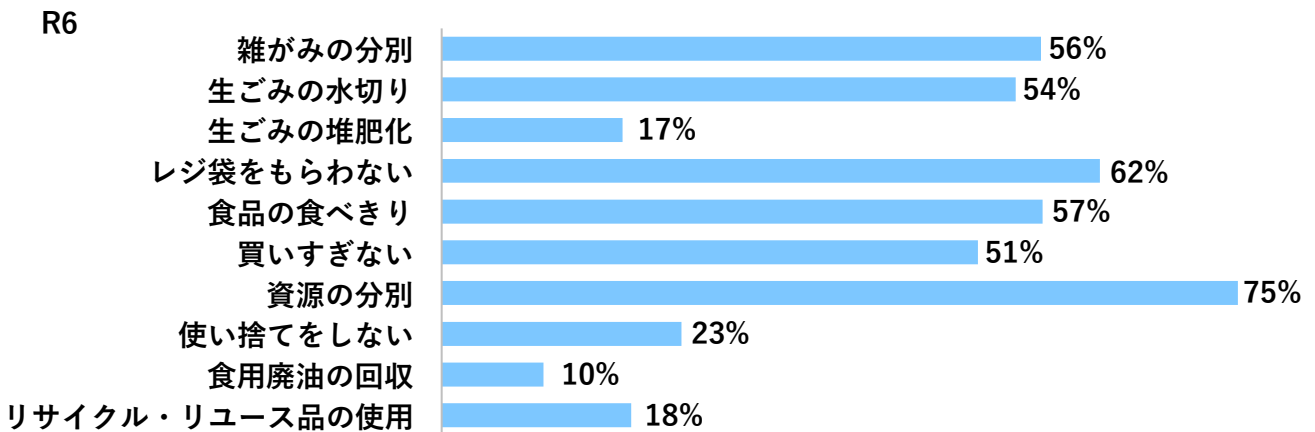
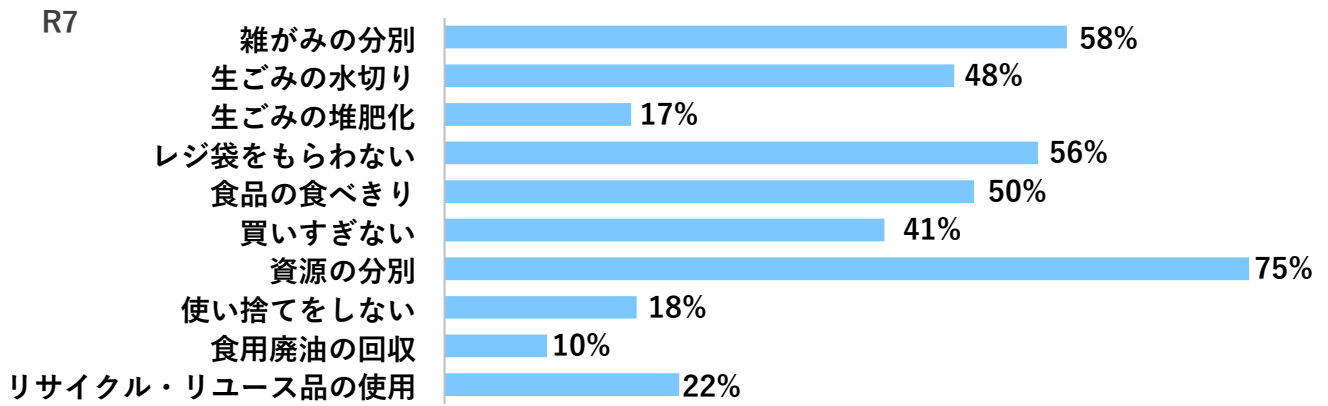
■ 自宅で災害が起きたときの指定緊急避難場所がどこか知っていますか？



■ 通勤・通学先で災害が起きたときの指定緊急避難場所がどこか知っていますか？

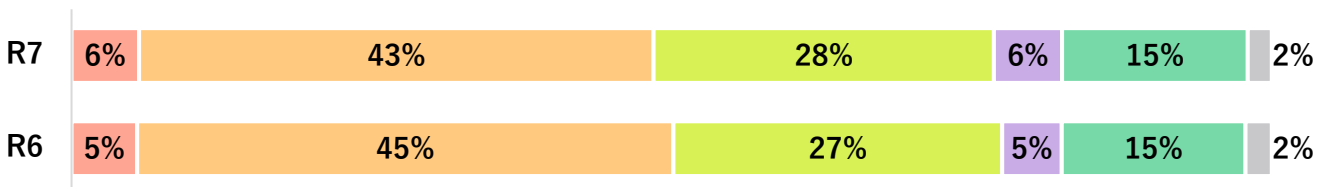


■ 家庭でのごみ減量に関して、取り組んでいることがありますか？



「日用品の買い物環境」については、「普通」の回答割合が57%と最も高く、次いで「不便」の回答割合が23%で、「快適」の回答割合より高くなりました。

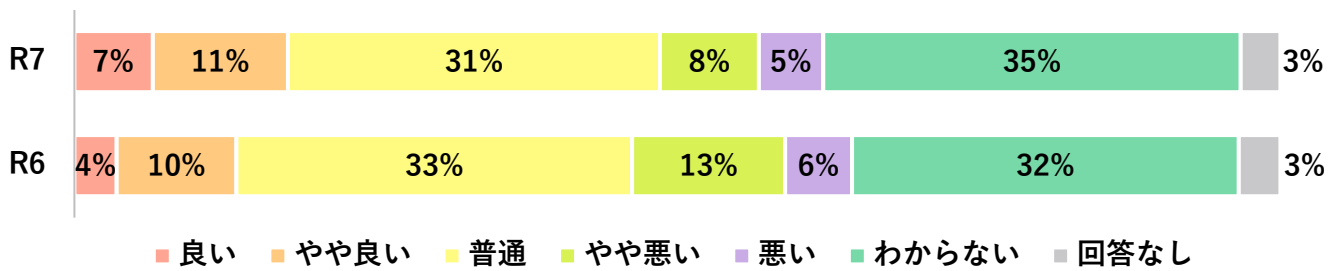
■ 「SDGs」について、どの程度の関心がありますか？



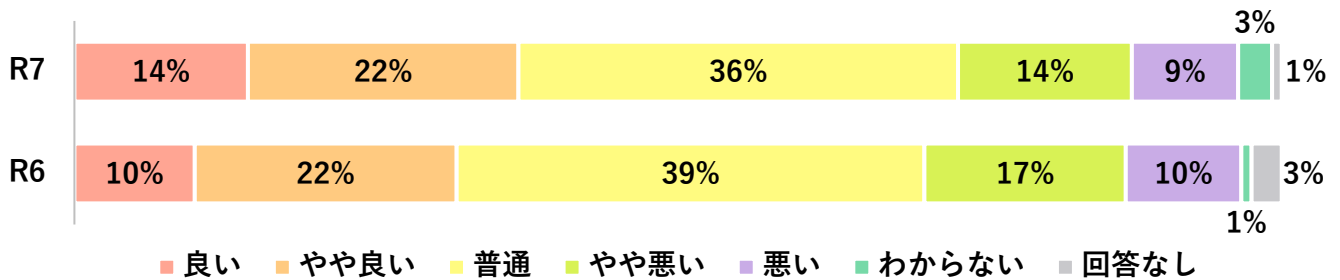
■ 非常に興味がある ■ 興味がある ■ あまり関心がない ■ まったく関心がない ■ わからない ■ 回答なし

SDGs への関心度について、「非常に興味がある」「興味がある」の回答割合が計49%で、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の回答割合より高くなりました。

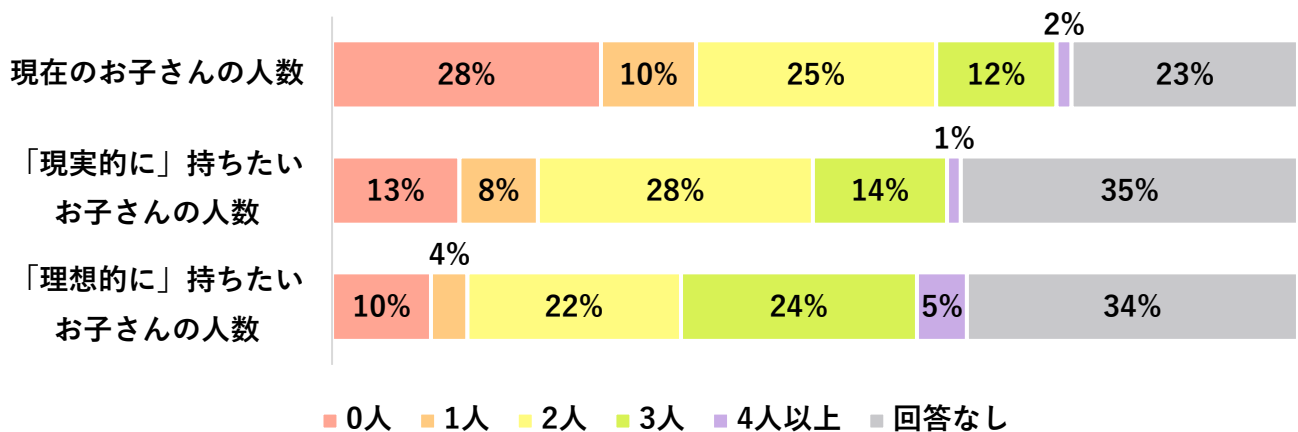
■今の恵那市の子育て環境について、どのように感じていますか？【全体】



【高校生未満の子どもがいる回答者】



■現在のお子さんの人数、「現実的に」持ちたいお子さんの人数、「理想的に」持ちたいお子さんの人数について、あなたの考えに近いものを書いてください。



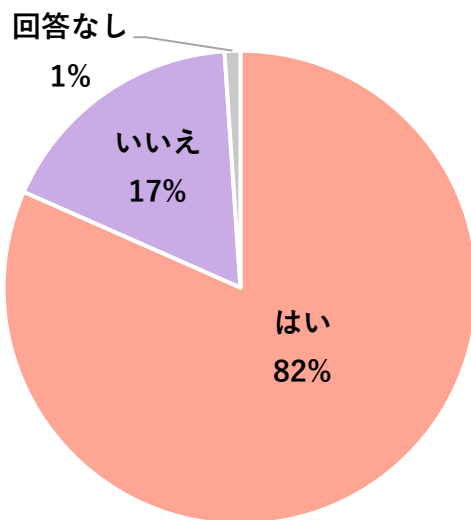
	平均人数 (R6)	平均人数 (R7)
現在のお子さんの人数	1.46 (1.19)	1.35 (1.08)
「現実的に」持ちたいお子さんの人数	1.73 (1.59)	1.74 (1.69)
「理想的に」持ちたいお子さんの人数	2.30 (2.31)	2.19 (2.22)

※無回答、無効回答は除く ※ () カッコ内は、20歳～44歳の回答者の平均

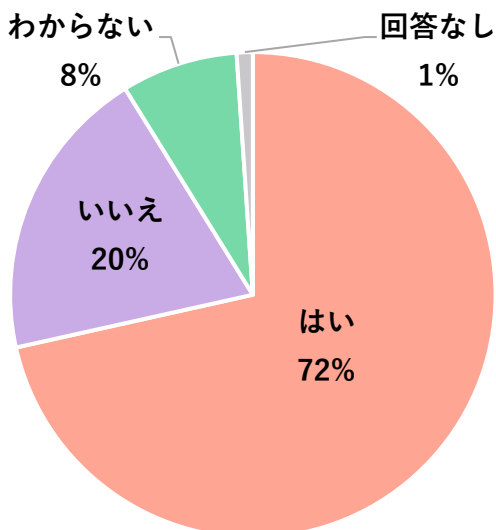
「子育て環境」については、全体の「良い」「やや良い」の回答割合が計18%で、「悪い」「やや悪い」の回答割合より高くなりました。「現実的に」持ちたいお子さんの人数は「2人」が最も高くなっています。「理想的に」持ちたいお子さんの人数は「3人」が最も高くなっています。

3 火災警報器について

■ 市条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられていることを知っていますか。



■ 住宅用火災警報器は設置されていますか。



「設置義務の認知」については、「知っている」の回答割合が82%であったのに対して、「設置の有無」について、「設置している」の回答割合は72%でした。



概要版では、調査結果の掲載を一部省略しています。

詳しい内容は、『令和7年度恵那市市民意識調査結果報告書【詳細版】』をご覧ください。